

第18回 MBI（マルチメディアを基礎にした教育）研究発表会プログラム

日 時：平成27年11月6日（金）13：00～15：50
場 所：総合教育研究棟フロネシス 2F 8211 講義室

開会の辞

13：00～13：10 明治薬科大学 学長 石井 啓太郎

座長：池田 玲子

1. 演題1 ノート PC を用いたバイオインフォマティクス分野におけるハンズオン講義

13：10～13：50 東京大学 大学院農学生命科学研究科 門田 幸二

要 旨
アグリバイオインフォマティクス教育研究プログラムの大学院講義や講習会では、ノート PC を用いたハンズオン講義を行っている。140名超収容可能な講義室、バッテリーのみで3時間の講義に耐えうるノート PC のおかげで、100名を超える受講生に対して、数名の講義補助員で成り立っている。本研究会では、我々の大学院講義や最近行った次世代シーケンサ解析に特化した大規模なハンズオン講習会の内容および諸課題について述べる。

2. 演題2 産総研における HPCI 人材養成事業の紹介

13：50～14：10 明治薬科大学 数理科学部門 杉原 稔

要 旨
産総研生命情報工学研究センター（現創薬基盤プラットフォーム）では、理化学研究所の委託を受け、2010年度から計算科学技術環境を使いこなせる生命科学系人材の創出をめざした「HPCI戦略プログラムにおける人材養成プログラム」（HPCI人材養成）を実施している（<https://hpci.cbrc.jp/>）。この人材養成プログラムでは、講習会だけでなく、ワークショップ、eラーニング、大学院へのセミナーの配信等も行っている。HPCI人材養成事業について紹介する。

<<Coffee Break & 企業展示セッション 14：10～14：40>>

座長：石橋 芳雄

| | |
|---|--|
| 3. 演題3 委員会活動における MY-CAST (moodle) の利用 | |
| 14:40~15:00 | 明治薬科大学 基礎薬学部門 石橋 芳雄 |
| 要旨 | 大学の委員会活動において、個々の委員は配布資料や議事録を必ずしも厳密に保管しているわけではなく、また、複数の委員会に携わっている場合もあり、それぞれの委員会での議論の内容や進捗を常に把握していることは難しい。そのほか、メール会議の場合、意見メールをメンバー全員に cc 付で送る必要がある、これを怠ると意見が伝わらないという不便さがある。MY-CAST (moodle) を委員会活動に利用することで、配布資料・議事録などを MY-CAST 上で一元管理することができ、その内容確認も随時可能となる。また、MY-CAST のフォーラム機能により、メール会議よりも円滑な意見交換が期待できるなど多くの利点がある。今回は、委員会活動における MY-CAST (moodle) の利用について紹介する。 |
| 4. 演題4 MY-CAST/Moodle フィードバック機能の英語学習への援用 | |
| 15:00~15:20 | 明治薬科大学 英語・言語学 稲田 俊一郎 英語・英語学 林 弘美 |
| 要旨 | MY-CAST/Moodle 搭載のフィードバック機能を英語の授業内で用いた一実践例を紹介、その効果について考察する。この機能の特徴に、課題の回答を一覧として匿名で即時提示・共有できることが挙げられる。これにより、学生各々に異なる誤答要因—聴解問題に「当たって砕けた」理由が単純な音声の取り違いによるのか、語彙力の不足か、文法の不理解か—について即座に言及可能となり、学習の最適化の一助となる。 |
| 5. 演題5 MY-CAST 導入から1年半 | |
| 15:20~15:40 | 明治薬科大学 数理科学部門 野口 保 |
| 要旨 | 2014年4月に導入した Moodle を用いた明治薬科大学 LMS/講義支援システム (MY-CAST) の運用が、年度の切り替えも大きな混乱なく行われ、1年半を超え、登録コース数や利用者数など様々な用途で活発に利用されている。本発表では、MY-CAST の利用状況について報告するとともに、その活用事例として、情報処理演習と基礎物理学での利用について紹介する。さらに、今後の MY-CAST の利用法の構想も紹介する。 |
| 講評 | |
| 15:40~15:50 | 教務委員長 池田 玲子 |

<<情報交換会 16:00~17:30>>

総合教育研究棟フロネシス 2Fラウンジ